

# UIFA ニュース

第 7 号

平成 2 年 12 月

◆ 発行 宇治市国際親善協会

事務局：宇治市宇治琵琶 33 宇治市役所秘書課内

TEL 0774-22-3141 内線 208



盟約書に署名をする池本市長

## カムループス市と 友好都市盟約を締結

一九九〇年七月一日

宇治市は、七月一日、カナダ国ブリテ  
イッシュ・コロンビア州カムループス市  
と、友好都市盟約を締結しました。

カムループス市で行われた調印式には、  
池本市長を団長とする調印団（四十七名）  
が、カムループス市からはガグラデー  
市長や市民ら約二百五十人が出席し、盛  
大に開催されました。

調印は、トンブソン河に面したリバー  
サイド公園の芝生に設けられた壇の上で、  
池本市長、加藤議長、ガグラデー市長、  
カスク同市書記の四人が、日本語と英語  
で書かれた盟約書に署名。

両市長は、固い握手を交し、両市の末  
永い友好の絆ながここに結ばれました。

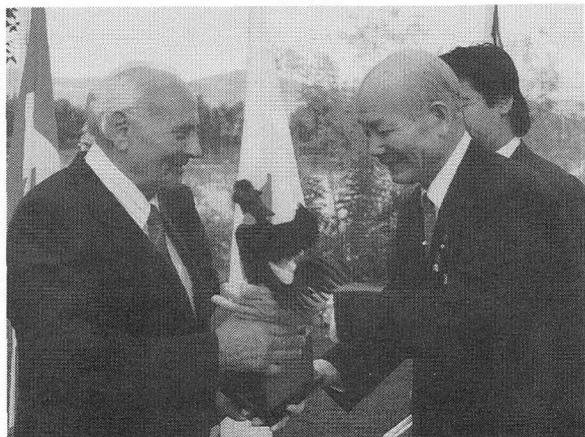
# カムループス市に 大きな架け橋を

カムループス市友好都市盟調印団団長

宇治市長 池 本 正 夫

去る七月一日、カナダ・カムループス市との友好都市盟約を締結し本市とカムループス市との友好交流の大きな第一歩を踏み出したところでございます。

昨年来、本市の国際親善協会の役員さんや本



友好の印として鳳凰のブロンズを贈呈

市からの調査団を派遣し、また、カムループス市からも調査団を受け入れ、相互に市の情勢をつぶさに見聞し、意見を交すなかで友好都市盟約への礎地をつくっていただきました。

そして、両市の国際交流事業の認識が一致し、互いに友好都市関係を築こうとの合意に達し、この度の調印の運びとなった訳でございます。

私達四十七名は、市民の大きな期待と責任の重大さを胸に秘めて六月二十九日に宇治市を出発し、翌三十日にカムループス市に到着いたしました。

初めて見る風景や街並の美しさは、私達の心を打ち、大自然の雄大さに接することができましたことは、たとえようのない喜びでございます。

そして、私は多くのカムループス市民と言葉を交わし、友好交流の原点であります「人と人とのふれあい」に努めておりましたが、さすが大国の国民性と申しますか、カムループス市民は、非常に大らかで、親しみやすく、苦もなく



記念植樹をするミス宇治の三人

友情が生まれてまいりました。

私は、友好都市としてカムループス市を選んだことに間違いはなく、友好交流を推し進める中で、国際交流事業が必ずや大きな成果が得られるものと確信いたしました。

そして、七月一日、私達は、トンブソン河畔のリバーサイドパークで行われました調印式に臨みました。

カムループス市のガグラディー市長をはじめ、市議会議員や多くの市民の方々が出席していただき、両市にとっての歴史の一ページを作るこの友好都市盟約の調印式が厳粛にかつ盛大に執り行われました。



リバーサイド公園での記念写真

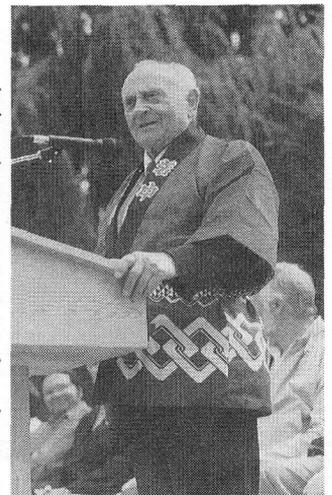
私は、加藤議長とともにこの盟約書に署名した訳でございますが、筆で「宇治市長池本正夫」と署名しながら、「この国際交流事業が、国際社会に大きく貢献し、両市民が豊かに育くみ、そして、有益な成果を収められますように」と心に念じた次第でございます。

この調印式に先だって行われました記念植樹、記念碑の除幕も両市民が一緒になって行い、参加者全員が国際交流の認識を深めカムループス市との友好交流に燃えたところでございます。そして、この気持ちを宇治市民へのお土産として持ち帰り、本市の国際交流事業に大きな力として生かしていきたいと思つた次第でございます。

私達は、このカムループス市滞在中、カナダ国の建国記念日を祝う「民族祭」や市民交流など、カムループス市が企画していただいた多くの行事に参加させていただきました。

その中で、私は多くのことを感じ、貴重なことをいろいろと学びとりました。

カナダは、多国籍民族から成り立っている国であり、カムループス市も英国系を中心にインディアン・日系で構成され、日系人も人口六万三千人のカムループス市の中にあつて九百人ほどおられる訳でございますが、それぞれが人種の隔りを越え、相互協力・協調の中で市の発展に努力し、また協力して、豊かな市民生活を営



ガグラデー・カムループス市長

んでおられる訳でございます。

国際交流を進める上でなくてはならない「異民族間の人と人のふれあい、相互理解と相互協力」が、カムループス市という一つの街の中で、確立されているのでございます。

私は、カムループス市滞在中、このことを肌で感じ、国際交流がもたらす効果は大きく、一人でも多くの宇治市民が、国際感覚を身につけ、市民生活の中で、活かしていただきたいと心に念じた次第でございます。

私達四十七名という大勢の訪問団にもかかわらず、事故もなく和気合々のうちに、目的を全員がしっかりと認識し、一丸となって宇治市とカムループス市に大きな架け橋を築くことができましたと確信した次第でございます。

今後、私達のこの交流を礎として、両市の市民交流を益々深められ、そして本市の国際交流事業が一層発展することを期待いたします。

# 暖かい友好の輪広がる

カムループス市友好都市盟約調印団副団長

宇治市議会議長

加藤吉辰

池本市長を団長とする友好都市盟約調印団(四十七名)は、バンクーバーからバス二台で六月三十日の夕方、カムループス市へ到着した。

丁寧にも、ガグラデュー市長や助役は、市の郊外の平原まで我々一行を出迎え、合流して宿舍予定のストックメンズホテルへ。

入り口では、市の関係者、日系人会、ミス・カムループス嬢が暖かく拍手で迎えてくれた。

カムループス市側では、宇治市の調印団を迎えるための約百人の歓迎市民委員会を作り、万



両国国歌を斉唱

全の受け入れ体制が作られ、このため、随所に心配りがあり、私達全員は、喜びと感激の連続であった。

カム市民の親切で温かく、そして明るく、陽気な人々に接し、国境や人種を越えて、瞬時に心の交流が深まり、三日間の滞在でありながら兄弟以上の友好となった。

到着の晩のホテルでの歓迎宴は、盛り沢山の企画で、演奏や歌、踊りなど夜中の十一時半まで延々と続いた。その後も同じホテル内の一室が用意され、友情を深めるために三日三晩、日系人会、市の職員、市議員が交賛で交流の場を作ってくれた。その中では、お互い手振り身振りの会話を通じて、異国での疲れも忘れて心の触れ合いがなされた。私も、連日参加し、ブラック市議さんとグッドフレンドの固い握手を交した。公式行事以外では、カナダ人のフランクで明かるい人柄に触れることができた。

七月一日は、カナダ建国祭。この日に両市の友好都市盟約調印式が、トンソン河畔の公園で行われ、池本市長と私も盟約書に調印をした。



宇治市旗をふりながら「民族祭」会場へ

公式行事の始めは必ず両国国歌の全員合唱があり、その時には、胸がジーンとなり、大きな感動を覚えた。外国の地で国旗国歌に接し、日本の代表という意識を受け、身の引き締まる感じの一瞬であった。また、単なる観光旅行では味わえない思い出でもある。

今回のカナダ国カムループス市との友好交流事業は、団員の協力、受け入れ市の万全の準備や暖かい歓迎などトラブル無く大成功であった。今後、民間レベルでの末永い交流が続くことでしょう。

# ハーモニーの街・カムループス

カムループス市友好都市盟約調印団副団長

宇治市国際親善協会監事

平 田 泰 彦

カナダ西海岸のバンクーバーからバスで約二時間行った所に、フレイザー河の「ヘルス・ゲイト峡谷」がありました。

そこに建っている「人々は自然に出会い、そして挑戦する」という碑を読みながら、その急流に懸る吊り橋や、険しい山肌を眺め、往年の西部開拓者の姿を思い浮べたり、また溪谷の両側を走るカナダ鉄道の百輪に及ぶ貨物列車の数を算えながら、カナダの自然の雄大さに打たれつつ到着したカムループスの街。

丘の上から眺めたその街は、緑とトンブソン河の水の青さ、そこに懸る橋の姿を見た時、宇治川の景観と相通ずるものを感じました。

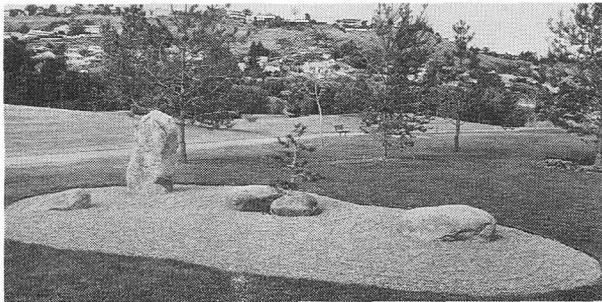
そして、七月一日のカナダ建国記念日の友好都市盟約調印式を中心とした各行事を通して、カムループス市民の方々と交流し、その人々の陽気さと心からの歓迎に、随行した団員全てが国際交流の良さを見出されたことと思います。

私も、生まれて初めての海外旅行が、この様に有意義な行事を伴っていただけに、なお一層に感激も深く、私の人生にとっても大きな思い

出となりました。このような機会を与えて下さいました宇治市当局の方々に感謝を致しております。

カナダは、私が仕事をする上での信条としております「ハーモニー（調和）」の国であります。あの広大な大自然の中で、原住民のインディアン民族をはじめ、幾多の民族が共存する中で、自然との調和、民族間の協調に努めながら、平和にして、心豊かな国家を築いているのであります。

そのカムループス市と友好都市盟約を調印したことは、国際平和都市として



友好都市を記念し作られた日本庭園



インディアン区での交換

の宇治市にとって、非常に意義深いことであり  
ます。

その関係を進めるには、経済の格差は感じられましたが、先ずは、宇治市民の多くが貴地を訪れて市民との交流を深め、そしてカムループス市民を迎える努力をし「ホームステイ」に応じる等、私達も心からの交流をする必要があることを痛感致しました。

カナダの美しい自然の思い出に浸りつつ、貴地でお知り合いになった方々との文通をはじめながら、その人達の来宇を心待ちにしている昨今です。

最後に、この友好都市盟約に努力されました池本市長、谷岡先生はじめ関係者の皆さんに、宇治市民の一人としてお礼を申し上げます。

## ヌワラエリヤ市友好親善訪問団

# 友情を深め帰国

4月8日～18日

### フラワーショーを

### 盛大に開催

ヌワラエリヤ市友好親善訪問団団長

宇治市助役 中 野 真 爾



宇治市長賞を手渡す中野助役

去る、四月八日から、本市と友好都市盟約を締結しているスリランカ国ヌワラエリヤ市を同市友好親善訪問団の団長として訪問してまいりました。

訪問団は、市議会の代表者及び国際親善協会会員等総勢十八名。

本市からの訪問は、昭和六十二年七月以来で三年ぶりの訪問となったものでバンドゥーラ・セネピラトナ市長や同市の関係者、今日まで本市と交流があった市民の方々との友好を深めることができました。

また、今回の訪問は、ヌワラエリヤ市が花卉栽培の一層の発展を期するために開催されたフラワーショーに出席し、優秀な作品に宇治市からのトロフィーを贈る役割もありました。

タイのバンコク、スリランカ・コロンボを経由してヌワラエリヤ市へ入ったのが四月十日。フラワーショー会場前での歓迎式典。翌日十一日がフラワーショーの最終日で表彰式、宇治市からのトロフィー・花の種を入賞者に贈呈、大

層喜ばれた次第です。

ヌワラエリヤ市に滞在した三日間は歓迎の日程がギッシリ。フラワースhowerで最優秀ガーデン賞を受けた庭園や幼稚園、製茶工場、三年前に宇治市が寄贈したビクトリア公園内の日本庭園、仏教寺院、競馬場等、次から次へと日程が追加されるなど、同市を離れるまでヌワラエリヤ市の人たちとの交流を深めることができました。

市庁舎では、池本宇治市長からの「今後より一層の親善を深めたい」との親書をバンドゥーラ・セネビラトナ市長に手渡すとともに、同市長の宇治市への招へいや研修生の人的交流など話し合い、今後具体的に協議を進めていくこととしました。

## アジア人としての近親感

ヌワラエリヤ市友好親善訪問団副団長

宇治市議会議員 地 上 一 男

インド洋に浮かぶ常夏の島スリランカ国。標高千八百メートルの高原にあるヌワラエリヤ市。年間最高気温二十度。

山肌一面に波模様輝く緑、世界一の紅茶栽培。サリー姿の人々があちこちで新芽を摘んでいる。

ヌワラエリヤ市を後にした訪問団は、古都キヤンディーを経てコロンボへ。コロンボでは、これまで両市の親善に尽くしていただいたコロンボ在住の人達と旧交を温めるとともに、在スリランカ日本大使公邸に招かれ、同国のお国柄等貴重なお話を伺うことができました。

帰路は、往路と同じくタイ・バンコク経由で四月十七日無事帰国いたしました。

最後になりましたが、十日間もの長期の行程で、とりわけヌワラエリヤ市での厳しい日程が無事終えることができましたのも、親善協会の皆さんをはじめ団員の皆さんの友好に対する熱意の賜ものと深く感謝を申し上げます、ヌワラエリヤ市友好親善訪問団の報告と致します。

町なかには、イギリス植民地時代をしのばせる建物が随所に残り、ゴルフ場や競馬場、西洋スタイルの公園、優雅な避暑地の雰囲気、庶民生活と隣り合わせにある。

市の体育館で盛大に開催されたフラワースhower。市民が丹精込めて育てた切花が会場一杯に



幼稚園児との記念写真

飾られている。庭園部門の入賞者が育てた花や庭を見学したが、バラ・コスモス等の花が色あざやかに咲いていた。いきとどいた手入れ、庭全体が緑の芝生、池などとマッチしている。

三年前に寄贈された日本庭園は、丁寧な管理で、周囲の蓮池とマッチし、日本の風情をしっかりと伝え、訪問記念にとポルトプラッシーの木を、中野団長と共に植樹を行う。

昭和六十一年、池本市長が友好都市提携を記念し、ヌワラエリヤ市役所前庭に植えられた茶

の木が二メートル以上に成長していた。その横には、宇治市から寄贈した消防自動車がかピカピカにみがかれ、エンジンの音もかろやかに私達一行を迎えてくれた。

夕食歓迎会、フラワーション後の民族舞踊、近代的なファッションショー、寺院附属幼稚園、製茶工場、親のない子供達の施設、寺院、競馬場と盛りだくさんの場所と人々が紹介され、その先々で団員との友好の輪が広がった。

新田大使夫妻の歓迎夕食会がコロンボ市内日本大使公邸で催され、訪問団一行が招待された。

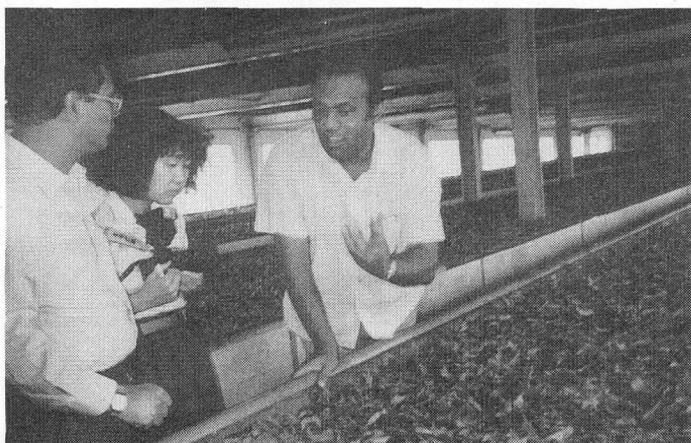
当日は、日本の大晦日に当たるためか、鯉の叩、竹の子・ニンジン・ゴボウなど日本の正月に食べるおせち料理や豆ご飯など、日本料理のご馳走の数々。異国での久しぶりの日本の味に団員一同楽しいひとときを過ごさせていただきました。



日本庭園で記念植樹

今回の訪問を通して、仏教を通じての共通感、アジア人種としての近親感、経済援助や技術革新、民間活力の導入など、発展途上国としての日本への大きな期待が、ひしひしと感じられました。

最後に、友好都市訪問団の一員として、多くの人々にお世話になったこと、また団員一同、予定のスケジュールを消化し、元気に帰京できたことを心から感謝しお礼申し上げます。



製茶工場を見学

## 会費の納入の

### お願い

平成二年度の会費を同封の振り込み用紙をご利用の上納入していただきますようお願いいたします。

また、氏名・住所など変更がありましたら、お手数ながら事務局までご一報いただきますようお願いいたします。

◎会費は次のとおりです。

- ・個人会費 二、〇〇〇円
- ・団体会費 五、〇〇〇円
- ・法人会費 一〇、〇〇〇円

## 訃報

宇治市国際親善協会事務局長でありました山本司郎氏(宇治市企画管理部次長)が、去る九月十三日にご逝去されました。山本氏は、当協会の設立時から事務局長に就任され、親善協会の発展と国際交流の推進に多大なるご貢献を賜わりました。

ここに深甚なる敬意と感謝を申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。